

基本情報	コード	名称	事業類型	III	整備事業	会計区分	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	1111 伊賀市水道広域化促進事業				22	08	01	30			
	基本施策	21 安全でおいしい水道水を安定供給する	所属	340300	水道部施設課	連絡先(記入者) 岸 剛毅 24 - 0002						

概要	事業概要	伊賀市水道一元化に伴い水道広域化促進事業を推進することにより、老朽化した経年施設の更新及び未給水区域解消等の統合関連事業を実施し、地震、濁水に強い水道および安全で安定したおいしい水の確保に努める。						事業期間		平成 22 年度 ~ 平成 30 年度	
	根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、水道法施行規則、国庫補助金交付要綱				審議会・委員会等		伊賀市水道事業評価審査委員会			
	補助金支出	有 ※支出“有”の場合要綱を記入 国庫補助金交付要綱						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	伊賀市水道給水区域内の全市民を対象とする。				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	給水区域内において未給水者をなくし、安全でおいしい水の安定供給を図る。									
H24実施内容	H24年度工事内容 送配水管布設替工事 一式 配水地耐震補強工事 一式 浄水場テレメータ更新工事他 配水管設計業務委託 一式										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
	活動指標	経年水道管更新	m	H23	H24	H25	H26	更新延長	
				目標 4,435.0	目標 5,403.0	8,645.0			
成果指標	水道事業の広域化	整備率	実績 4,402.0	実績 5,385.0			配水池、浄水場耐震補強		
			目標 53.0	目標 59.0	59.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率 33.3%)	191,520	237,800	243,200	262,833	297,810	281,233	200,060	
		県費 (補助率)								
		地方債	166,100	237,800	243,200	262,800	297,800	281,200	200,000	
		その他	265,291	313,400	409,800	340,928	344,056	317,667	240,650	
		合計(A)	622,911	789,000	896,200	866,561	939,666	880,100	640,710	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	本工事費	544,677	723,794	864,972	801,461	894,936	847,025	612,780	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
		調査費	75,937	58,993	28,011	42,525	32,130	21,630	21,630	
		用地費及び補償費		4,113	1,117	9,975				
		その他事務経費	2,297	2,100	2,100	12,600	12,600	11,445	6,300	
			小計(B)	622,911	789,000	896,200	866,561	939,666	880,100	
人件費	正規職員	人数	3.0人							
		人件費	17,046	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
		人件費								
	小計(C)	17,046	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331		
	合計(D=(B+C))	639,957	806,331	913,531	883,892	956,997	897,431	658,041	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	17,046	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331	17,331		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	285	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	水道施設の老朽化等から安全でおいしい水の安定供給が図れなくなる。また未給水区域については必要となる生活環境水準の確保ができないことになる。	(概ね)順調	
関与の妥当性		協働の状況など	
実施方法	(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金
		委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)
昨年度記載した改善策	今年度発注を予定している未給水区域解消について、関係者と協議を重ね平成25年3月末までに工事を完了する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
現時点における課題及び課題に対する改善策	北部配水関連事業で6件の工事を予定しているが、各々の工事が密接に関連しているため、工程管理を厳密に実施すること及び工事の早期発注をおこなうことが肝要である。また、未給水地区の水道管路工事について早期に関係者との交渉及び協議を行い事業実施を図る必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	的場 文夫	現状維持	伊賀市上水道として水道事業の一元化を踏まえ、伊賀市全体としての事業を推進する。